

[宮崎県社会福祉士会通信]

みなみ風

<発行> 宮崎県社会福祉士会
会長 松井 利博
<事務局> 宮崎県社会福祉協議会
事務局長 吉田 雅憲
2008(平成20)8.25 発行 / No.42

新たな地平に向け ソーシャルワーク実践を

平成二十年度の活動の幕が上がって、もう四ヶ月が過ぎようとしています。

三月の総会で承認いただいた事業計画の中で、三つの新たな委員会の設置を行いました。

成年後見制度活用推進委員会は、ばあとなあ宮崎の成年後見受任活動と合わせて、権利擁護のために高齢者や障害者分野等で在宅や施設を問わず成年後見制度の活用を進めて行くこうとするものです。

独立型社会福祉士支援委員会は、社会福祉士らしい活動を前面に据え独立して事業を行っている会員の継続的な事業展開を支援することにより、成年後見制度の積極的な受任体制や権利擁護の相談援助体制を整えること等をねらいとしています。

ソーシャルワーク実践委員会は、私たち社会福祉士が社会からの期待にしっかりと応えていけるよう、

社会福祉士としての実践のための力量を高めるとともに、私たちの存在意義を示していくために、活動分野・所属・領域等のそれぞれのところで具体的なソーシャルワーク実践を展開しそれらの成果を蓄積していくこうとするものです。

会員の皆さんは、権利擁護・成年後見・ソーシャルワーク実践といった社会福祉活動参加の熱い想いを胸に社会福祉士の資格取得を目指されたことと思います。そうした会員各人の想いをもう一度きちんと実現していこうとする非常に重要な活動だと考えていますので、ぜひ積極的にご参加下さい。

さる六月七日・八日に神奈川県横浜市で開催された第十六回日本社会福祉士会全国大会は、「地域に根ざした権利擁護の旗手として」みなとで語る社会福祉士のみらい」という、まさに私たちが直面している課題をテーマに全国から一三五十人が参加し、公演やシンポジウム、分科会等が行われしました。その中でも、元横須賀基督教社会館館長として有名な、阿部志郎さんの「社会福祉のみらい」と題した基調講演では、経済効率主義に陥っている現代社会において、「分かちあい」の福祉的意味、「ちむぐりさ」という肝が苦しむ想いの共有等を通して、福祉の文化を再構築して「愛の世紀の展開」を実現しようと呼びかけられました。そしてそのためには、「告白すべき何かを心の中に形成している者」、「好き嫌いを超えて自分のなすべきことをする者」としての「プロ」が、すべての人が人生をまっとうできるようにその人の弱さに係わっていく必要があることを指摘されました。まさしく、私たち社会福祉士がこの役割を担っていかねばならないという想いを強くした講演でした。

私たち社会福祉士のソーシャルワーク実践が、社会福祉の新たな地平を切り開いていく時代です。ともに歩んでいきましょう！

県士会 松井会長



統一研修沖縄会場の参加費助成

参加費助成二十名分の予算があります。希望される方は、九月一日から先着順に受付開始しますので、事務局までお申し込みください。

六月総会報告

一 出席者数 一三五名

(うち 委任状七十八名)

議決権を有する正会員数

平成二十年六月一日現在一九九名

二 議長 児玉 広義

三 協議

「第一号議案 「平成十九年度事業報告について」

業報告について」

まず、松井会長より、平成十九年度事業基本方針に基づいて総括的に事業報告を行ない、その後、主要な事業の総括及びブロック、委員会の活動状況について報告がありました。質疑応答の後、採決を行なったところ、原案どおり可決されました。

「第二号議案 「平成十九年度一般会計・特別会計決算報告について」

吉田事務局長より、平成十九年度一般会計と特別会計の収支決算の状況及び財産の状況等の説明を行なった後、石村監事より五月十七日に行なった会計監査の報告

がありました。概ね適正な処理がなされているという報告の後、未収・未払金については、迅速な処理を行なうこと、また、未収となつていないものについて早急に処理するよう指摘がありました。

質疑応答の後、採決を行なったところ、原案どおり可決されました。

「第三号議案 「新設委員会平成二十年事業計画(案)」について」

平成二十年度から新設することとなつた三つの委員会の事業計画について川崎副会長より、説明がなされました。質疑応答の後、採決を行なったところ、原案どおり可決されました。

「第四号議案 「平成二十年度一般会計第一次補正予算について」

平成十九年度の決算が確定したことを受けて、主に前年度繰越金

収入、新設委員会の活動にかかる経費等について補正を行なうことについて、吉田事務局長より説明があり、質疑応答の後、採決を行なったところ、原案どおり可決されました。

四 その他

総会の協議終了後、執行部より次の説明が行われました。

(一) ばあとなあ宮崎平成十九年度活動状況等について

児玉運営委員長より、平成十九年度の活動状況、成年後見人等の受任状況等の報告があり、その後、平成二十年度の活動計画等について説明がありました。この中で、県弁護士会と連携した高齢者虐待専門チームの設置を行なうことなどが説明されました。

本件に関する問い合わせ先

宮崎県社会福祉士会事務局

(担当：吉田雅憲)

〒八八〇・〇二二

宮崎市佐土原町下田島四五五八

番地二

社会福祉法人明照福祉会気付

TEL 〇九八五・七四・三七七七
FAX 〇九八五・七四・〇五九八



議案協議



受付風景

特別講演

平成二十年六月一日定期総会終了後、宮崎大学 医学部 社会医学

講座 生命・医療倫理学分野 准教授兼臨床倫理コーディネーター 板井孝吉郎先生 による特別研修が行われました。大病院という最先端医療の現場からソーシャルワーカーに期待することという内容によほど厳しい要求がくるのではという緊張感の中、始まった研修でしたが板井先生のユーモアたっぷりな身振り手振りを交えた話しぶり、人気TVドラマの内容を引用しての解説などがあり、終始和やかな雰囲気

で研修は行われました。研修は講義形式で行われ講義の中心は

医療福祉の現場において倫理綱領に基づいて支援することの難

し。

支援の実践を行うときの倫理的な考え方の必要性。

け入れ環境の違いによる社会問題について。

医療現場におけるモンスターペイシェント・ファミリー問題。

Communication Style

Inventory(CSI)簡易版を使用しての自己分析テストの解説

まさにわれわれが、現場で日々直面している葛藤に対しての処方をお願いしたような講義であったように思います。特に、倫理的であるためにその行動が道徳性、適法性のいずれも満足させているか、独善的な行動になっていないかを常に自分自身で確認しながら支援していく必要性。傾聴するときに姿勢が同じでなく共感しながら支援できているか、自分自身リフレッシュできているか、現場従事者が経済的、精神的にゆとりがないと、倫理的な行動をおこなう余裕をもてない（衣食足りて礼節を知る）等、本当にその通りだと思います。

最後に行った簡易CSIテストによる確認テストは自己の行動パターンの強み、弱みを認識し独善的

にならないために、自分がどういう点に注意して対応すべきであるか考えるときに大変参考にできる方法だと感じました。加えて、自分と連携して支援に当たる周囲の他職種の方たちをこのテスト結果に仮に分類してみることで相手の性格の特性を今まで以上に理解できるようなれば、周囲とのコミュニケーションの向上につながるのではとも感じました。

今回の講義内容を今一度心に留め、医療福祉分野従事者の環境待遇改善、現場での支援スキルの向上につなげていける、大変貴重な研修会であったと思います。

研修開始のときに最新の時事問題に触れて研修生の心をつかみ、途中では人気TVドラマの内容を引用し感心を引き付け、物まねも入れて雰囲気を作り、最後には服装もスーツからエプロンへ変身するなど、研修生の目、耳、心のすべてに訴える工夫をされた講義方法に板井先生のコミュニケーションスキルの豊富さを感じました。

研修会に参加された皆さん、倫理的な悩みを抱えたときには、講義終了後に先生から研修生全員がいただいたコンサルテーションルーム「喫茶 りんり」の「ドリンク・セット」無料サービス券があることをお忘れなく。

広報委員 上田祐資



社会福祉士会関係役員です よろしくお願ひします!!

【常設委員会】

権利擁護委員会

担当理事 吉田 安幸

委員長 日田 剛

研修委員会

担当理事 日高 五子

委員長 黒木 佳恵

ケアマネジメント委員会

担当理事 古賀 正之

国家試験対策及び組織率向上委員会

担当理事 川野 雄司

委員長 西田 貴文

広報委員会

担当理事 黒木 幹雄

委員長 井上 潤二

地域包括支援センター推進委員会

担当理事 嶋田喜代子

委員長 吉田 修

成年後見活用委員会

担当理事 吉田 安幸

委員長 小倉和也

独立型社会福祉士支援委員会

担当理事 海江田 裕

ソーシャルワーク実践委員会

担当理事 川崎 順子

【特別委員会】

法人化推進委員会

担当理事 川崎 順子

【ブロック】

県北ブロック

担当理事 久光 博之

事務局長 峰 豪紀

県央ブロック

担当理事 串間 保昭

事務局長 大森 孝志

県南ブロック

担当理事 中村 健児

事務局長 田村 真一郎

【監事】

石村 明比古

並 タツ

【選挙管理委員会】

委員長 廣瀬 恵

委員 岡田 眞

小倉 和也

【ばあとなあ宮崎】

委員長 児玉 広義

副委員長 黒木 幹雄

【日本社会福祉士会代議員】

田畑 寿明

松井 利博

【事務局】

事務局長 吉田 雅憲

お知らせ

沖縄県で全国統一研修開催

十一月二十九・三十(土・日)

九月一日から申し込み開始
ぜひ積極的にご参加下さい。

編集後記

今年度から広報委員会はブロック毎に役割分担したうえで活動しています。県北は県士会のパンフレット作成、県央は「みなみ風」の編集発行、県南はホームページ運営です。ブロックごとの活動が活発になればと思います。

会員の皆様に再度のお願いですが、この「みなみ風」も含めてできるだけ県士会のホームページにアクセスしていただき情報を閲覧していただくのと経費節減につながりますのでよろしくお願ひします。

広報委員会担当理事

黒木 幹雄

「みなみ風」No.42

「宮崎県社会福祉士会通信」

会員のみなさまからの情報をお待ちしております